

教育委員会表彰式



2月28日、6年度教育委員会表彰式が市役所で開かれ、教育の各分野において活躍された方々が表彰されました。(敬称略)

【各種大会・コンクール】

◆吉田翔(船引南小5年)
(日清食品カップ第40回福島県小学生陸上競技交流大会男子5年100m第1位)

◆三浦結愛(船引中1年)
(2024民報旗福島県中学生新人陸上競技大会女子1年1500m第1位)

◆三輪奈槻(船引中2年)
(2024民報旗福島県中学生新人陸上競技大会男子2年1500m第1位)

(2024民報旗福島県中学生新人陸上競技大会最優秀選手賞)

◆大内裕翔(船引中3年)
(第70回全日本中学校通信陸上競技福島大会男子3年100m第1位)

◆渡邊日向(船引中3年)
(第67回福島県中学校体育大会陸上競技大会女子共通四種競技第1位)

◆船引中女子駅伝部
(第67回福島県中学校体育大会駅伝競走大会女子の部第1位)

◆船引中合唱部
(こども音楽コンクール東北大会声楽部門中学校合唱の部最優秀賞)

◆船引中吹奏楽部
(第37回全日本マーチングコンテスト東北大会中学生の部金賞)

【各種委員功績者】

渡邊春子(市学校給食センター運営委員) 石井ゆみ子、本田孝江(市社会教育委員) 曾田憲子(市図書館協議会委員) 菅野奈美(市文化財保護審議会委員) 大河原正樹(市スポーツ推進委員) 佐藤守弘(市学校医) 三浦雅則、星淳、佐藤みゆき(市学校薬剤師)

【スポーツ少年団指導功績者】

猪狩忠夫(大越剣道スポ少) 橋本元太(ふねひきバスケットボールクラブスポ少)



ものづくり企業合同説明会

2月18日、ものづくり企業をテーマとした企業合同説明会が、郡山市労働福祉会館で開催されました。

ハローワーク郡山管内の企業7社(市内から2社)が出展し、求職者40人が参加しました。前半は各企業が企業説明を行い、後半では求職者が興味を持った企業のブースを訪問し、採用担当と個別面談を実施しました。市内企業のブースには延べ6人の求職者が参加し、担当者との就労に向けての相談を行いました。



うちエコ診断相談会

2月18日、市役所で、福島県地球温暖化防止活動推進センター主催の「うちエコ診断相談会」が開催されました。

「うちエコ診断」とは、各家庭の光熱費やCO₂の排出量が見える化し、各家庭のライフスタイルに合わせた適切な提案やアドバイスを受けられます。近年のエネルギー問題による電気やガスの料金など節約の意識は高まっていますが、実はもっと効率の良い方法が見つかるかもしれません。

☎ 福島県地球温暖化防止活動推進センター ☎024-944-0083



船引南総代区と移総代区が優良耕作団体

2月13日、南東北たばこ耕作組合主催の6年産葉たばこ表彰式が、石川町の八幡屋で行われ、船引南総代区と移総代区が優良耕作団体として表彰を受けました。

これを受け、市は同27日、市役所で受賞団体への表彰を行いました。式では、市長が船引南総代区の大和田勘二代表と移総代区の渡辺好一代表に表彰状を手渡し、功績をたたえました。



MEET @たむら

2月2日、船引町のラ・ルーチェで、さまざまな出会いを創出する交流イベント「MEET @たむら第4回」を開催し、12人が参加しました。

paddy village caféの近藤拓也さんを講師に迎え、ラテアートをして交流を図り、パスタディナーを楽しみました。また、結婚世話やき人へ積極的に相談をされる方もいらっしゃいました。

市は、これからも婚活支援を行います。

☎ 総務部 企画調整課 ☎61-7615



たむライフ☆たむライク 田村市モニターツアー

市グリーン・ツーリズム連絡協議会は1月25、26の両日、あぶくま洞などでモニターツアーを実施しました。

東京や千葉等の首都圏から20人のご家族が参加し、団子さし、サンドブラスト、星空観察、そば打ち、あぶくま洞ガイドツアーなどを体験しました。

ツアー参加者からは「初めて田村市を訪れたが、まるで里帰りをしたような気持ちになり、大人も子供も楽しめた」といった声が寄せられました。

～田村市の楽しいがたくさん～ たむらほっとニュース・4月号



浸水深表示標識を設置

2月21日、過去の浸水実績を踏まえた防災意識の向上や避難行動の参考とするため、船引町内の大滝根川流域5カ所に、河川が越水した際の浸水深を示す標識を設置しました。

標識には防災マップの想定浸水深が表示されており、住民の皆さんが水害のリスクを知り、適切な避難行動をとるための目安となるものです。日頃から防災情報を確認し、いざという時に備えましょう。



NHK 地域ミーティング

2月20日、市船引保健センターで、災害時に支援が必要な高齢者や障害者など要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るために作成された「個別避難計画」を、より実効性のある計画とするための機会として、NHKと共同で「地域ミーティング」を開催しました。

要支援者に関係する家族や近隣住民、行政区長らが参加。障害特性や生活状況によって、どんな支援が必要か意見を交換し、要支援者を地域でどのようにサポートできるのかを考えました。



地域でのドローン活用事例を学ぶ

2月15日、株式会社NTT-MEの業務でドローンを有効活用されている社員4名が船引高校を訪れ、同校ドローン科学探究部の生徒に業務の紹介を行いました。

業務紹介では、業務の活用事例やドローン導入による業務効率化の状況、所有機体の紹介のほか、校庭でドローンによる点検業務や、農業散布用ドローンのデモフライトを行いました。生徒は、地域でのドローン活用事例に理解を深めました。



市異業種ビジネス交流会(EG事業)

2月14日、市異業種ビジネス交流会を迎賓館辰巳屋で開催しました。

この事業は市内事業者の情報交換を促進する場として、初開催しました。市内で事業を展開する43社55人が参加。地域内で企業協力の必要性についてのセミナーを受講した後、名刺交換を通じて、企業同士の情報交換が行われました。

普段交流のない事業者との情報交換を行うことで、新たなビジネスのキッカケを発見する場となりました。



県花き品評会で坪井さんが金賞 佐久間さんが銀賞

2月14日、第50回福島県花き品評会の表彰式が、福島県農業総合センターで行われ、坪井令士さん(常葉町)の「精しろく(小菊)」が金賞(福島県知事賞)、佐久間カネ子さん(大越町)の「精黄はちす(小菊)」が銀賞(福島県花き研究会会長賞)を受賞しました。

受賞者らは同日、市役所を訪れ、市長へ受賞報告を行いました。市長はこれまでの労をねぎらいながら、功績をたたえました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。